

至急のご案内

< 2 2 - 1 1 >
2 0 2 2 年 4 月

先生各位

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、下記検査項目につきまして、検査実施施設より試薬添付文書に合わせ報告範囲（下限値）を変更する旨の連絡がございましたので、ご案内申し上げます。

なお、この変更に伴うその他の受託要領の変更はございません。

先生方には急なお知らせで大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

■対象項目:

血中遊離メタネフリン分画

[項目コード:4068]

■変更実施日:

2022年 4月 1日(金)受付分より

以上

※ 裏面をご覧ください。

	新	現
項目コード	4068	同左
検査項目名	血中遊離メタネフリン分画	同左
検査方法	EIA法	同左
検体材料・検体量	EDTA-2Na血漿 1.0 mL [容器番号 : 14番]* ¹	同左
保存方法	凍結	同左
基準値・単位	褐色細胞腫のカットオフ値 メタネフリン : 130.0 以下 pg/mL ノルメタネフリン : 506.0 以下 pg/mL	同左
所要日数	4 ~ 11 日	同左
保険点数	320 点* ² (「D008」生化学検査Ⅱ 「50」遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画)	同左
判断料	144 点 (生化学的検査(Ⅱ)判断料)	同左
報告範囲	メタネフリン : 13.0 未満 ~ 3600.0 以上 ノルメタネフリン : 30.0 未満 ~ 7200.0 以上	メタネフリン : 20.0 未満 ~ 3600.0 以上 ノルメタネフリン : 35.0 未満 ~ 7200.0 以上
報告桁数	小数第1位	同左
備考	<p>* 1: ・ 測定値が上昇するおそれがあるため、仰臥位(ぎょうがい)にて20分間安静にした後に採血してください。</p> <p>・ 著しい溶血や乳びが認められる検体は不可です。 (特に溶血血漿は低値となる可能性があります。)</p> <p>・ COMTによるドーパミン代謝物である3-methoxytyramine が著しく高値の場合、褐色細胞腫以外のドーパミン産生腫瘍の疾患では稀に偽陽性となる場合がありますのでご注意ください。</p> <p>・ セロトニン、ノルアドレナリン再取り込み阻害剤、三環系抗うつ剤、MAO阻害剤、L-DO PA、交感神経刺激剤等の薬物投与を受けた後の検体では、測定値に影響を与える場合がありますのでご注意ください。</p> <p>* 2: 褐色細胞腫の鑑別診断を行った場合に1回に限り算定する。本検査を実施するに当たっては、関連学会が定める指針を遵守し、褐色細胞腫を疑う医学的な理由を診療録に記載すること。 メタネフリン、メタネフリン・ノルメタネフリン分画、ノルメタネフリン又は遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画のうちいずれかを併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。</p>	同左